

心の灯りをともそう

あか

暑い夏、エアコンが普及した今、スイッチ一つで部屋は快適に、冷蔵庫を開ければ程よく冷えた飲料水……。いつの間にか当たり前となったこの光景も、電力の供給不足が懸念される今、私たちがどれほど電気に依存する生活をしていたか痛感している人も多いはずです。皆さんの生活の中に「むだ」な電気使用はありませんか。節電は、二酸化炭素(CO₂)など地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制にもつながります。「もったいない」の気持ちで、できることからエコな生活を始めてみませんか。

節電 アクション

増加の一途をたどるCO₂ 今こそ考えるエコ生活

いよいよ夏本番。電力消費量が一年で一番多い季節です。みなさんの家庭の電気代も普段よりも高くなるのではないのでしょうか。そのため、電力会社はこの需要の急増に備えて発電量を増やすことになりませんが、昨年の大震災の原発事故を受けて、これまで原子力発電に頼っていた電力を主に火力発電によってまかなうようになりました。

火力発電は、石炭や石油、天然ガスなどの燃料を燃やして得た、高温・高圧の蒸気で発電するもので、燃料を燃やす量によって発電量を調整することが

可能な発電方法です。しかし、この燃料を燃やす発電は、CO₂の排出量が原子力や水力発電に比べて多い発電方法です。そのため、夏は、消費電力だけでなくCO₂の排出量も増加します。そこで、地球温暖化の原因とされるCO₂の排出量を抑えるためにも、積極的に取り組むべき「節電」。節電を行えば火力発電の量を減らすことにつながり、さらに、電気代を抑えることにもつながります。

節電 アクション

一人ひとりの「節電」が 未来につながる大きな力に

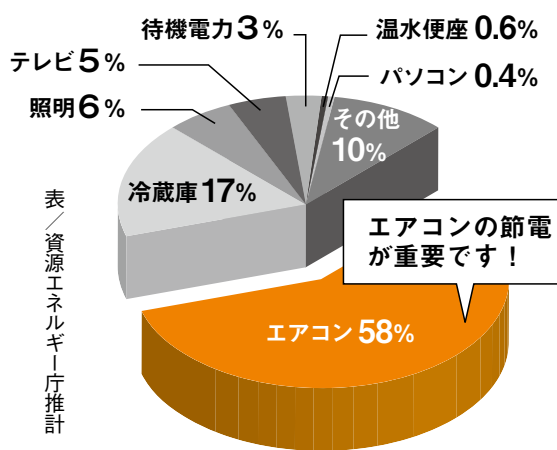
今年も昨年同様に電力不足が懸念され、電力会社は昨年より10%以上の節電

電協力を呼びかけています。これを達成するには、企業だけでなく各家庭でも、今以上に本格的な節電が必要です。

各家庭で特に電力消費量が多くなるのは、人々が活動を始める朝の時間帯と、気温が高くなり冷房を使う13～15時ごろ、そして夕食時です。この時間帯に節電を意識することで、ピーク時の電力消費を抑えることができます。「節電」と聞いて何か特別なことをしなければいけないようで、面倒に感じてしまうかも知れません。しかし、実際はどういったことが節電になるか知っていれば、簡単にできることがたくさんあります。次の4ページを参考に、家計のため、地球のために始めてみませんか、「節電」を。

Saving electric power & energy

夏の昼間(14時頃)の電力使用の特徴



エアコンの節電が重要です!

【節電への協力要請】

夏の日中の家庭における消費電力のうち、エアコン・冷蔵庫・テレビ・照明が全体の8割程度を占めています。これらを中心に節電に取り組むと効果的に電力の消費を抑えられます。

▶ みなさんの需要が高まる、7月2日(日)から9月7日(金)の平日(お盆期間を除く)の9時から20時にかけて、昨年度と比較して10%程度以上の使用最大電力の節電をお願いします。

▶ 特に気温が高く、電力需要がピークに達する時間帯の13時から17時の間は、重点的な節電をお願いします。

❗ エアコンの使用を控え過ぎて体調不良になる場合があります。無理のない範囲で節電をお願いします。屋内でも熱中症にかかることがありますので、普段から室温管理や水分補給に留意し、熱中症などには十分にご注意ください。特に、高齢者や乳幼児、体調・体力に不安のある人は、十分に気をつけてください。

